

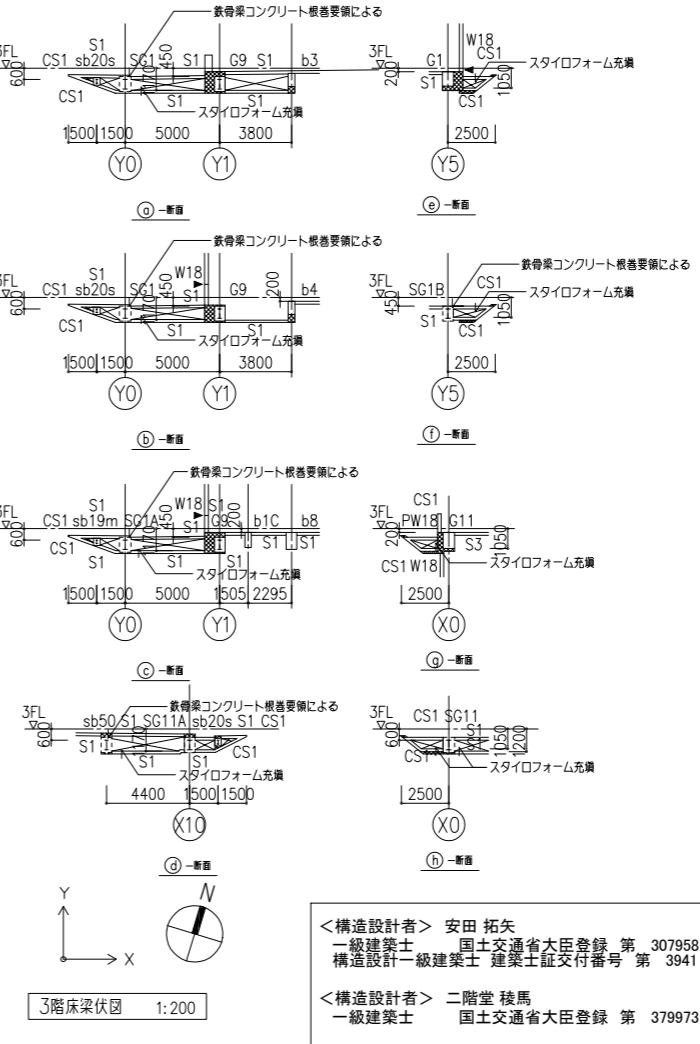
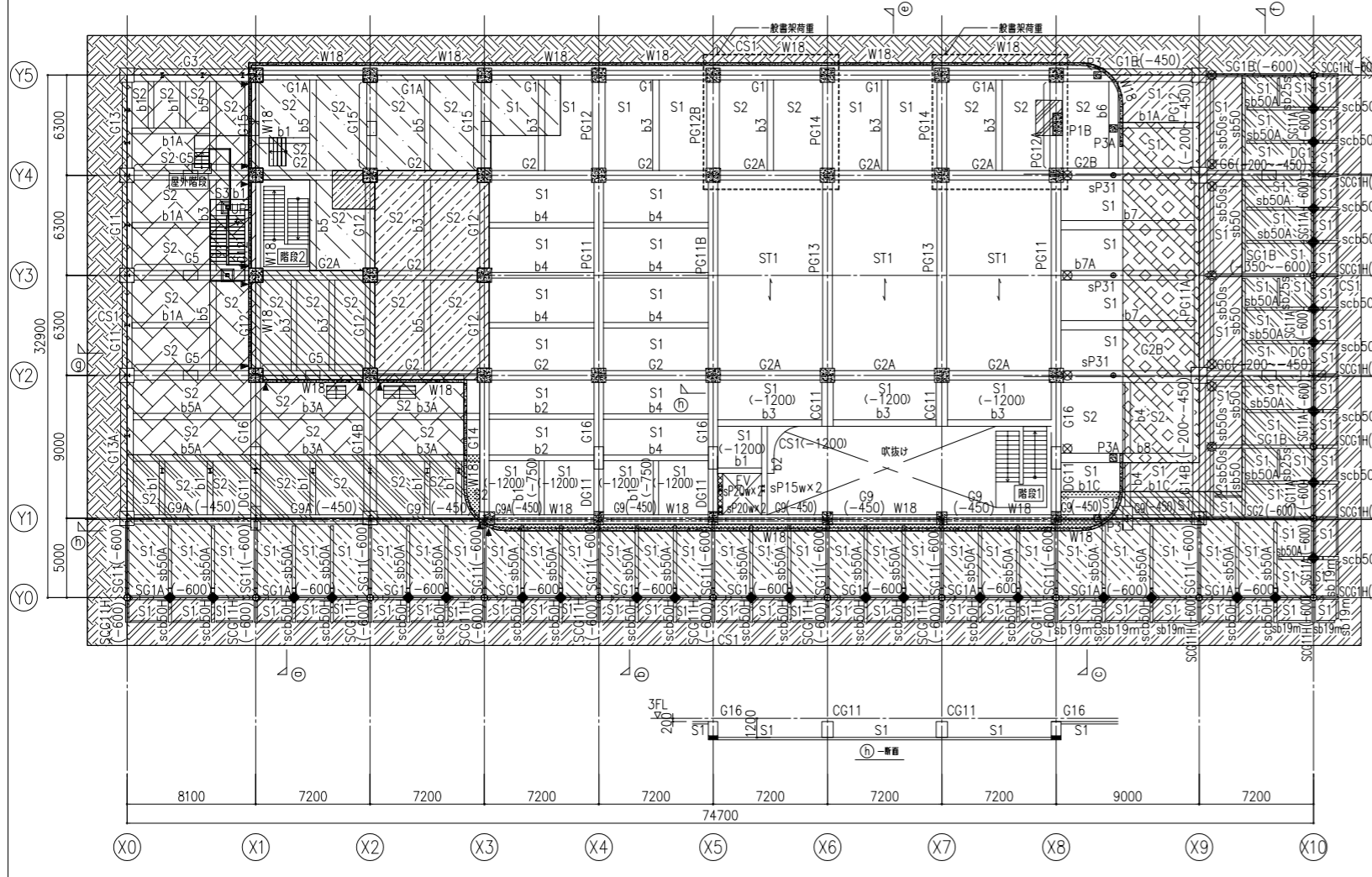
太陽光パネル用1次鉄骨梁台 (建築工事) のたわみ

荷重条件	たわみ	備考
長期 (短時)	1/1000以下	長期荷重
長期 (積雪時)	1/200以下	長期荷重+長期積雪荷重
短期 (積雪時)	1/150以下	長期荷重+短期積雪荷重

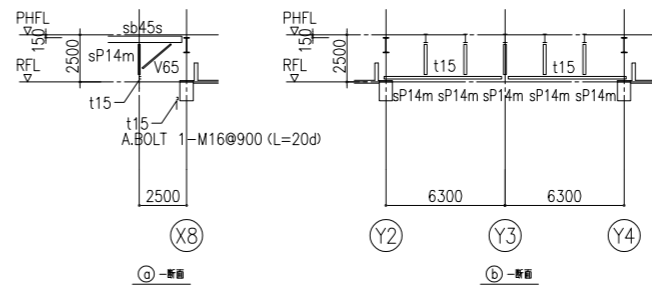
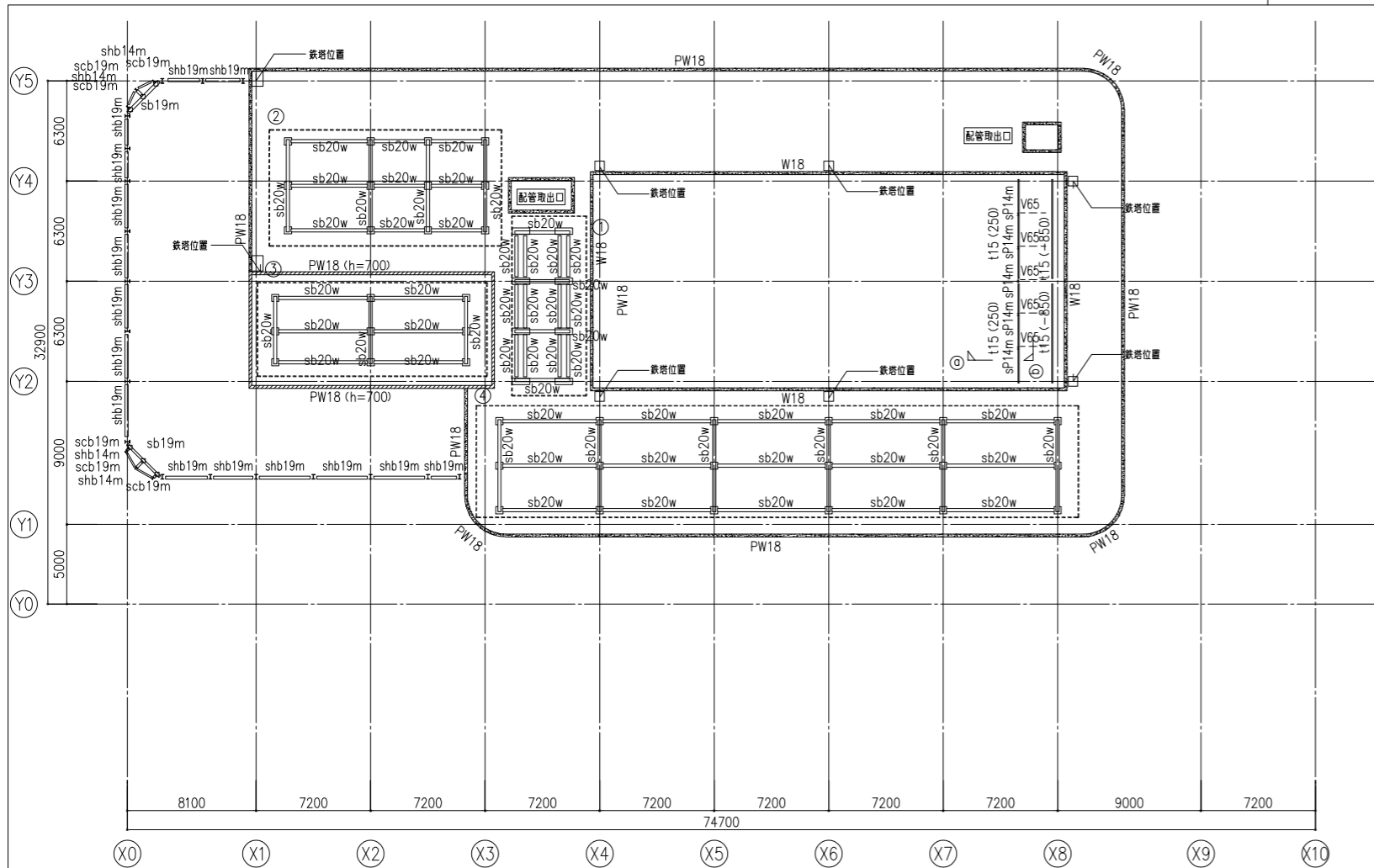
設備梁台基礎および機器荷重

基礎番号	機器荷重 (kN)	基礎の大きさ (LxWxH)
①	合計 32	400x400x900
②	合計 54	400x400x900
③	18	3700x2600x200
④	30	3400x1600x200
⑤	10	-
⑥	合計 90	9000x2400x200
⑦	合計 23	450x450x900
⑧	合計 23	450x450xh (h=3FL±0)

- 共通事項 (特記なき限り)
- 印は壁は PW18(h=FL+700) とする。
 - () 内の数値は コンクリート天端 からの壁高さを示す。
 - 印は 梁-梁剛接合を示す。
 - 印は 歩廊 を示し、支持スパンが@900x1600以内となるよう t75 を設置すること。



- 共通事項 (特記なき限り)
- スラブ天端、大梁天端、小梁天端は FL-200、鉄骨小梁は sb20s とする。
 - 印は スラブ天端、大梁天端、小梁天端 FL-15、打増し天端 FL+400 とする。
 - 印は スラブ天端、大梁天端、小梁天端 FL-15、打増し天端 FL+100 とする。
 - 印は スラブ天端、大梁天端、小梁天端 FL-15 とする。
 - 印は スラブ天端 FL+100、小梁天端 FL+100、大梁天端 FL-15 とする。
 - 印は スラブ天端、大梁天端、小梁天端 FL-200、打増し天端 FL-100 とする。
 - 印は スラブ天端 FL-100 (水上) ~ FL-200 (水下) とする。
 - 印は スラブ天端 FL-150 (水上) ~ FL-200 (水下) とする。
 - 印は スラブ天端、大梁天端、小梁天端 FL-150 (水上) ~ -240 (水下)、鉄骨大梁天端、鉄骨小梁天端は スラブ天端 -150 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-230 (水上) ~ FL-275 (水下)、下部スラブ天端 FL-1170、鉄骨大梁天端、鉄骨小梁天端は スラブ天端 -150 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-350 (水上) ~ FL-380 (水下)、下部スラブ天端 FL-1170、鉄骨大梁天端、鉄骨小梁天端は FL-600 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-350 (水上) ~ FL-380 (水下)、下部スラブ天端 FL-1050 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-200、下部スラブ天端 FL-1170 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-155 (水上) ~ FL-200 (水下)、下部スラブ天端 FL-1170 とする。
 - 印は 上部スラブ天端 FL-350 (水上) ~ FL-450 (水下)、下部スラブ天端 FL-1170、鉄骨大梁天端、鉄骨小梁天端は FL-600 とする。
- () 内の数値は FL からの梁天端およびスラブ天端レベルを示す。
- 印は 構造スリット位置を示す。
 - 印は 梁-梁剛接合を示す。
 - 印は コンクリート打増しを示す。
 - 印は PC床版方向を示す。
 - 印は 建方用鉄骨柱位置、--- 印は 建方用鉄骨梁位置を示す。
- 積載荷重 (N/m²)
- | | 床用 | 小梁用 | 梁橋用 | 地費用 |
|-----|------|------|------|------|
| 一般部 | 7800 | 7800 | 6900 | 4900 |
- の範囲の積載荷重を示す。



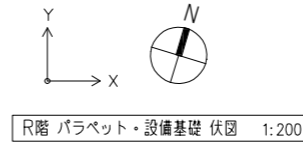
太陽光パネル用1次取得架台（建築工事）のため

荷重条件	ため	備考
長期（常時）	1/1000以下	長期荷重
長期（積雪時）	1/200以下	長期荷重+長期積雪荷重
短期（積雪時）	1/150以下	長期荷重+短期積雪荷重

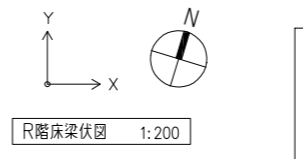
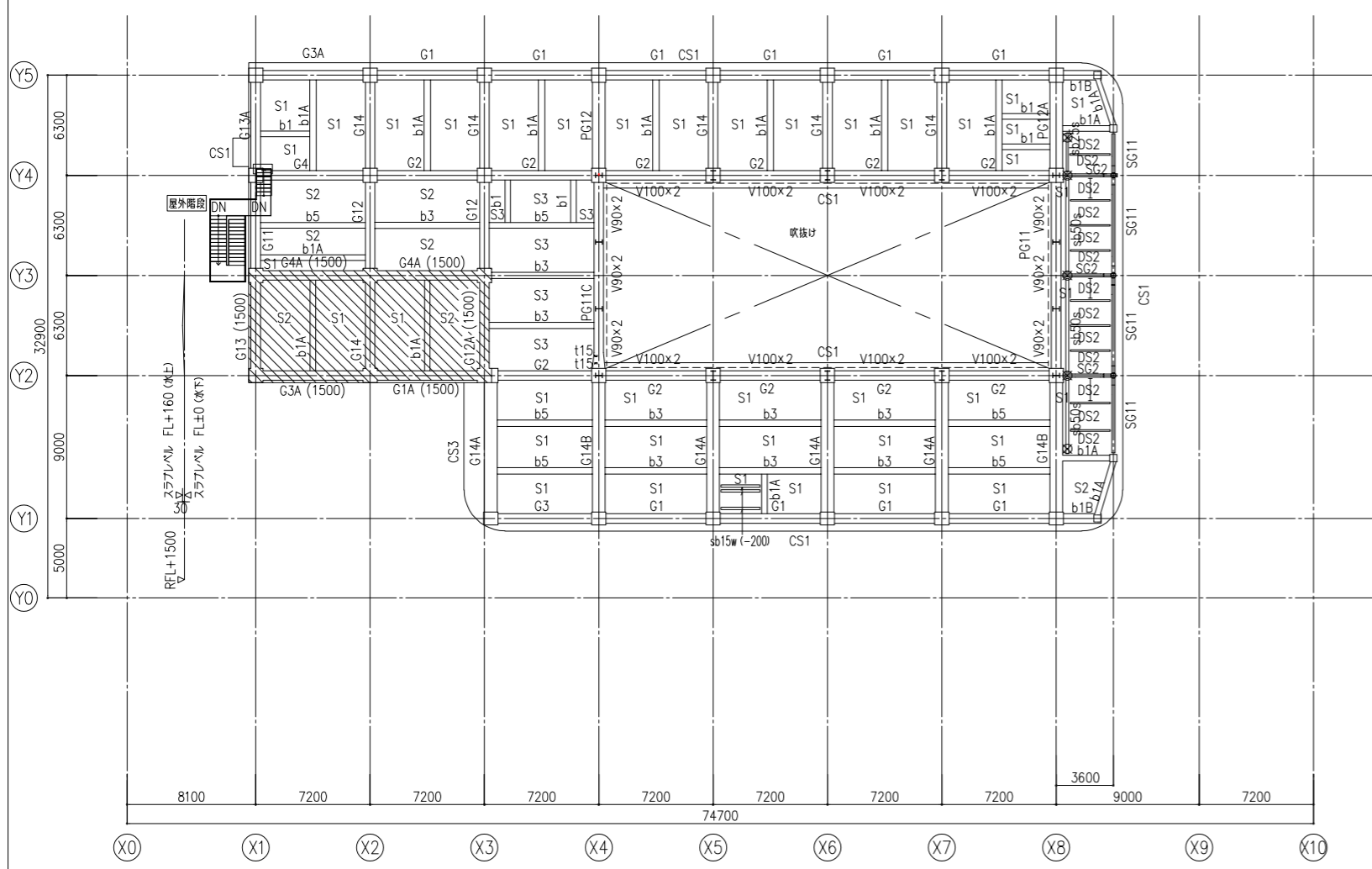
設備架台基礎および機器荷重

基礎番号	機器荷重 (kN)	基礎の大きさ (LxWxH)
①	合計 29	1100x400x900 x 8本
②	合計 30	450x450x900
③	合計 18	450x450x800
④	合計 95	450x450x900

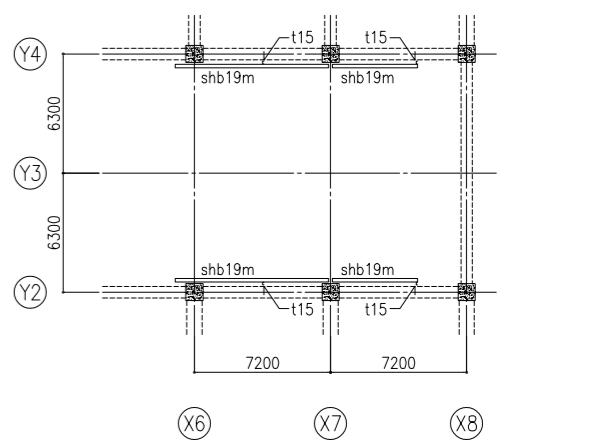
- 共通事項（特記なき限り）
- 印壁は PW18(h=FL+2200) とする。
 - 印壁は PW18(h=FL+1500) とする。
 - () 内の数値は コンクリート天端 からの壁高さを示す。
 - 印は 梁-梁剛接合を示す。
 - 印は 歩廊 を示す。



R階パラペット・設備基礎 伏図 1:200

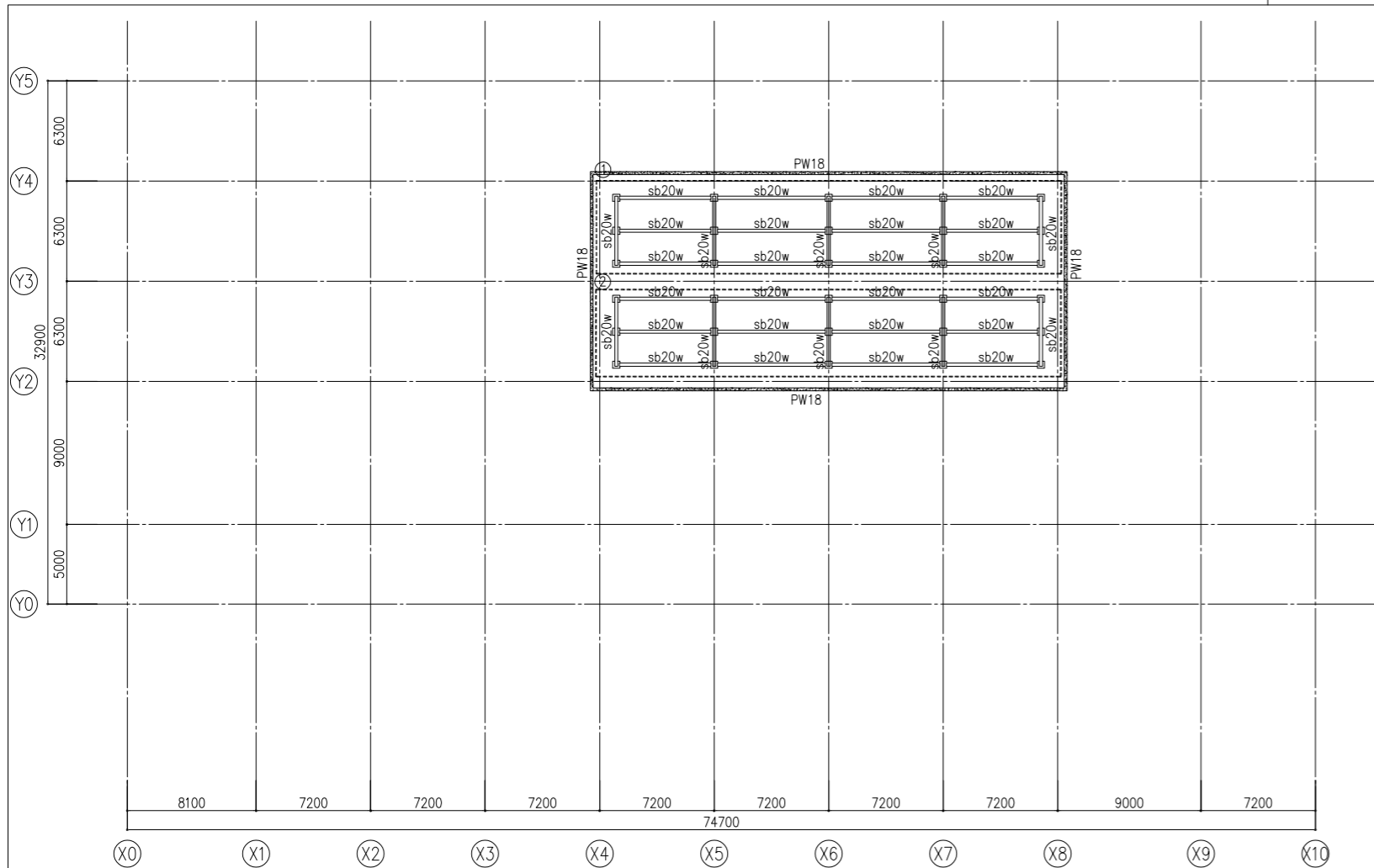


R階床梁伏図 1:200



- 共通事項（特記なき限り）
- 大梁天端は FL±0 とする。スラブ天端、小梁天端は FL+160 (水上) ~ FL±0 (水下) とし、水勾配は意匠図による。
 - 鉄骨大梁天端は FL-150、鉄骨小梁天端は スラブ天端-150 とする。
 - 鉄骨小梁は sb20s とする。
 - 印は 大梁天端 FL+1500 とする。スラブ天端、小梁天端は FL+1530 (水上) ~ FL+1500 (水下) とし、水勾配は意匠図による。
 - () 内の数値は FL からの梁天端およびスラブ天端レベルを示す。
 - 印は 構造スリット位置を示す。
 - 印は 梁-梁剛接合を示す。
 - 印は コンクリート打増しを示す。
 - 印は 構補剛材 (B-TYPE) を示す。
 - 印は 建方用鉄骨柱位置、---印は建方用鉄骨梁位置を示す。

<構造設計者> 安田 拓矢 一級建築士 国土交通省大臣登録 第 307958 号 構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第 3941 号		入善町新庁舎整備事業 建築主体工事	
B	(A1) 200		
14	(A3) 400	R階床梁伏図	
安井建築設計事務所			

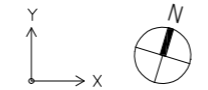


太陽光パネル用1次鉄骨梁台（建築工事）のたわみ

荷重条件	たわみ	備考
長期（常時）	1/1000以下	長期荷重
長期（積雪時）	1/200以下	長期荷重+長期積雪荷重
短期（積雪時）	1/150以下	長期荷重+短期積雪荷重

設備梁台基礎および機器荷重

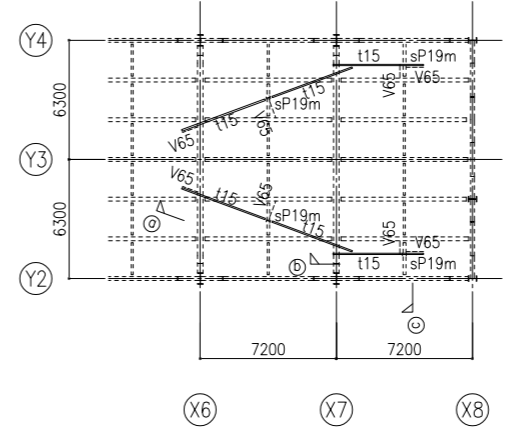
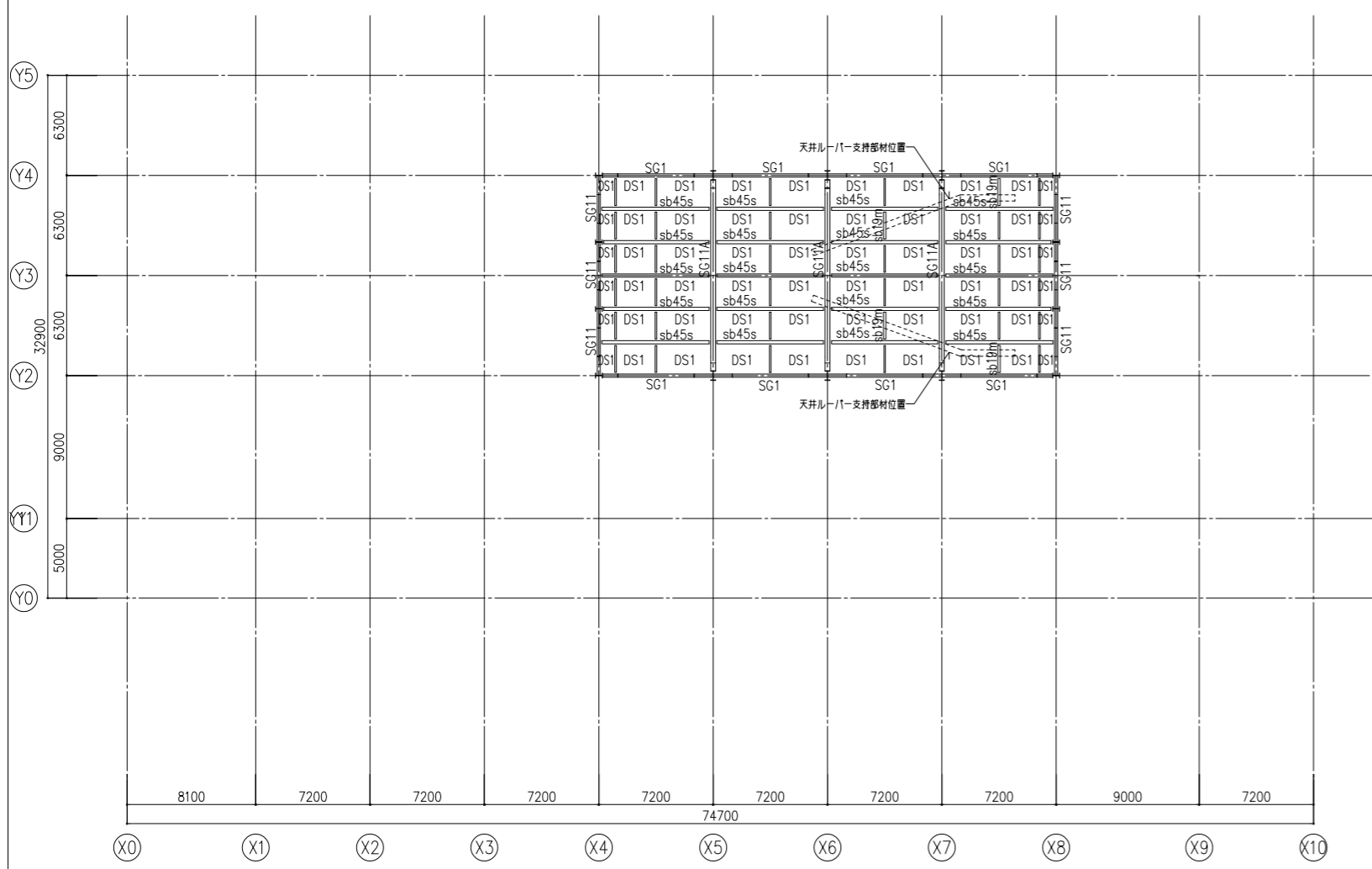
基礎番号	機器荷重 (kN)	基礎の大きさ (LxWxH)
①②	合計 106	450x450x900



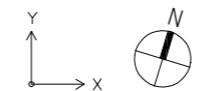
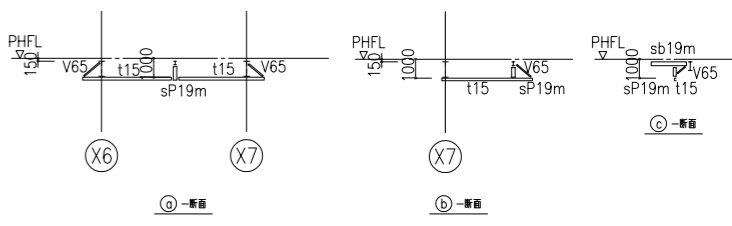
PH階 立上がり壁・設備基礎 伏図 1:200

共通事項（特記なき限り）

- 印は PW18(h=FL+700)とする。
- ()内の数値は FL からの壁高さを示す。



PH階-1000 天井ルーバー支持部材（上側）伏図 1:200



PH階床梁伏図 1:200

共通事項（特記なき限り）

- ・大梁天端は FL-150 とする。スラブ天端、小梁天端は FL+70 (水立) ~ FL±0 (水下) とし、水勾配は意匠図による。
- ・鉄骨小梁は sb20s とする。
- ・()内の数値は FL からの梁天端およびスラブ天端レベルを示す。
- 印は 構造スリット位置を示す。
- 印は 梁-梁剛接合を示す。
- 印は コンクリート打増しを示す。

<構造設計者> 安田 拓矢 一級建築士 国土交通省大臣登録 第 307958 号 構造設計一級建築士 建築士証交付番号 第 3941 号		入善町新庁舎整備事業 建築主体工事	
B		(A1) 200	
15		PH階床梁伏図	(A3) 400
<構造設計者> 二階堂 稜馬 一級建築士 国土交通省大臣登録 第 379973 号		安井建築設計事務所	